

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 1 月 31 日作成)

小委員会名	地震荷重小委員会		主 査 名：大川 出 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 振動運営委員会		委員長名：和田 章 主 査 名：三浦賢治
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・地震荷重小委員会では、地震に対する建築物の要求性能を満たす設計の今後の方向性を示唆する枠組み、内容について総合的に検討し新しい地震荷重評価法を構築すること、さらにこれらを刊行物にまとめることを目的に活動している。		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	大川出(建築研究所) 林康裕(京都大学) 壇一男(清水建設) 藤堂正喜(戸田建設)、上林宏敏(大阪工業大学) 森保宏(名古屋大学) 松村和雄(鹿児島大学) 土肥博(NTTファシリティーズ) 緑川光正(北海道大学) 曾田五月也(早稲田大学) 楠浩一(横浜国立大学) 香川敬生(地域地盤環境研究所) 神野達夫(広島大学) 石原直(国総研) 岡野創(鹿島小堀研)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2007 年度予算	470,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. 『地震荷重 - 性能設計への展望 - 』
講習会	1. 講習会「地震荷重 - 性能設計への展望 - 」(2008 年 2 月 28 日) 参加者数 121 名
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. シンポジウム「建築振動工学の発展と耐震設計」 参加者数 109 名 『同名資料』(振動運営委員会全小委員会で共催)
大会研究集会	1. PD：性能設計と地震荷重 参加者数 330 名 『構造部門(振動)パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 刊行物『地震荷重 - 性能設計への展望 - 』を刊行した。 2. 同刊行物に関する講習会を実施した。
委員会活動の問題点・課題	1. 地震荷重は様々な分野を取り込んだ非常に大きな枠組みである。 2. 荷重運営委員会との関係がいまだ不明。荷重指針中の地震荷重への地震荷重小委の関与は、不要なのか。